



▲「児童の素直な態度と礼儀正しさに驚いた。落語も上達していて今後が楽しみ」と感想を述べた柳之助師匠。

## 不土野小「落語会」

10月7日、不土野小(佐々木龍二校長 児童11人)で落語会が行われました。春風亭柳之助さん(東京都)、林家九蔵さん(北川町)が、指導のため昨年に続いて同小を訪問。落語指導のほか、一緒に給食を食べるなどして交流を図りました。

また、同日午後3時から地域の方々にも開放して、落語の口演会を行いました。指導を受けた児童3人の落語の後、林家九蔵さん、春風亭柳之助さんが「ときそば」などの演目を披露。訪れた方は台風災害の影響で疲労がたまっている状況の中、久しぶりに大笑いして楽しい時間を過ごしました。



▲ゴム銃的をねらう子どもたち。

## ゴム銃づくりに挑戦

10月10日、椎葉小グラウンドでネイチャーゲームが行われました。これは、ひえつきの里椎葉ネイチャーゲームの会(小川弘志代表)が主催したもので、自然とふれあう体験を通して、人と自然のつながりを実感、共感する心を育もうというものです。

村内から参加した20人の親子は、「カモフラージュ」や「木の葉かるた」などのゲームを楽しんだほか、ゴム銃づくりを体験。同会員の指導のもとそれぞれがゴム銃を作り、どんぐりなどの木の实を弾にして遊びました。子どもたちは自然を生かした遊びを通して、互いの交流を図りながら楽しんでいました。



▲仲良く弁当を食べる両児童館の子どもたち。

## 遠足で交流深める

10月18日、上椎葉児童館で松尾児童館との遠足による交流が行われました。今年は、台風災害で道路事情が悪いということもあり、お互いの児童館に出向いて遠足を実施。同日は、松尾児童館の児童16人が上椎葉児童館を訪れ、一緒に散歩をしたり、弁当を食べたりして交流を深めました。

同11日には、上椎葉児童館が松尾児童館で遠足を実施していたこともあり、児童らはお互いの名前を呼び合いながら仲良く遊んでいました。例年とは異なりましたが、友だちもたくさんできて楽しい遠足となったようです。



▲体力年齢を測定する参加者。

## 自分の体力年齢を知ろう

10月18日、村開発センターで健康運動教室が行われました。これは、村が進める「健康しいば21実践計画」の取り組みの一環として行われたもので、第1回目となる今回は血圧測定の後、脳年齢や体力年齢を測定しました。

参加者は、村体育指導委員の協力のもと腹筋や反復横跳びなどを行い、運動能力を測定。それぞれが自分自身の体力年齢を確認しました。中には、年齢以上の体力があることを知って喜ぶなど、測定結果に一喜一憂しながら健康運動の大切さを考えていました。この教室は定期的にかかれていて、皆さんもぜひ参加してください。

